

屋根 日本瓦 土葺き  
 外壁 南面：板張り その他：モックアップ 土塗り壁 t=40  
 内壁 土塗り壁 t=40 天井面まで  
 火打梁あり  
 基礎 無筋コンクリート布基礎 軽微なクラック  
 劣化事象 廊下床

- 通し柱 120\*120
- 管柱 105\*105
- ▲ 既存スライ 90\*30 釘打ち 1.90kN/m
- Be 現況化粧合板 t=3 胴縁仕様 0.90kN/m
- 現況土塗り壁 t=40 2.40kN/m
- 現況土塗り壁 t=40 7割 1.50kN/m

- A-213 新設構造用合板 t=12 減災協 A-213 5.20kN/m  
N50 四周@100
- A-335 新設構造用合板 t=9 減災協 A-435 3.64kN/m  
アルミ角 t=1.5\*9\*40 コスレット φ3.8\*L32 @100  
アングルの柱への留め付けは  
コスレット φ3.8\*L32 @100 斜め打ち
- A-435 新設構造用合板 t=12 減災協 A-435 4.16kN/m  
アルミ角 t=1.5\*9\*40 コスレット φ3.8\*L32 @100  
アングルの柱への留め付けは  
コスレット φ3.8\*L32 @100 斜め打ち

※構造躯体に劣化は無いものと判断しています。  
 工事に伴い劣化が確認されたら、その都度対応します。  
 ※貫材が施工されている場合は、補強下地等の施工の際  
 貫材を切断せず、下地材を欠き込むこと。  
 ※耐震補強を行う壁の上又は下に、横架材が無い場合は  
 柱同寸以上の横架材を設置すること。  
 ※耐震補強を行う壁の下部に、基礎が無い場合は、新た  
 にコンクリート基礎を設置すること。  
 ※土台にはアコホ 舩が、2.7m 以内の間隔で設置されて  
 いることを確認する。なければ、設置すること。  
 ※柱接合部「い〜は」の柱脚には、アコホ 舩があること。  
 無ければ設置する。  
 ※柱接合部「に・ほ・へ・Ⅱ」の柱脚には、柱芯から  
 200mm 以内にアコホ 舩(M12)を設置すること。

● アコホ 舩M12 ケミカルにて施工

	一般診断法	精密診断法1 必要耐力表	精密診断法1 施行令
2X	1.08	1.12	1.11
2Y	0.99	1.05	1.04
1X	0.86	0.90	1.04
1Y	0.82	0.87	1.00



新設 柱頭柱脚金物		※通し柱の2階柱脚および1階柱頭には、金物不要。	
		1階柱脚	1階柱脚以外
いろは	にほへⅡ	コバコナ同等品 TANAKA	
		サコナ同等品 TANAKA	
と		オコナ15kN同等品 TANAKA	
ち		オコナ20kN同等品 TANAKA	

床面積		構造面積	
2階	28.98	2階	28.98
1階	64.59	1階	66.25
合計	93.57	合計	95.23